



2025年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社Ubicomホールディングス
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 青 木 正 之
(コード番号：3937 東証プライム市場)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 北岡 明哲
(TEL. 03-5803-7339)

**2026年 3 月期の配当予想の修正ならびに
剰余金の配当（中間配当）の決定のお知らせ**

このたび、当社は本日開催の取締役会において、下記のとおり2025年 9 月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）について決議いたしました。また、2025年 5 月 8 日（9 日に記載を一部訂正）に公表した2026年 3 月期の期末配当予想を下記の通り修正しましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 2026年 3 月期配当予想

	年間配当金		
	第 2 四半期	期末	年間合計
前回予想		未定	未定
今回修正予想		40円 00銭 (安定配当 25円 00銭) (業績連動型配当 15円 00銭)	40円 00銭 (安定配当 25円 00銭) (業績連動型配当 15円 00銭)
当期実績	0円 00銭		
前期実績 2025年 3 月期		40円 00銭 (安定配当 25円 00銭) (記念配当 15円 00銭)	40円 00銭 (安定配当 25円 00銭) (記念配当 15円 00銭)

2. 剰余金の配当（中間配当）の決定内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年 5 月 9 日公表)	前期実績 (2025年 3 月期中間)
基準日	2025年 9 月30日	同左	2024年 9 月30日
一株当たり配当金	0円 00銭	未定	0円 00銭
配当金の総額	—	未定	—
効力発生日	—	未定	—
配当原資	—	未定	—

3. 配当予想修正の理由について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けております。また、当社は株主還元方針として、安定配当を基本に、業績連動要素を加えることで総還元性向の向上を図っております。業績連動型配当については、当社の業績に加えて、当期純利益やフリーキャッシュフローの状況を総合的に勘案して決定しております。

このたび、懸念されておりました米国関税の影響について、現時点で把握可能な範囲では、当初の想定より影響は軽微にとどまる見込みです。加えて、足元の業績が堅調に推移していることから、株主の皆様のご期待に一層お応えすべく、2026年 3 月期の 1 株当たりの配当予想を修正することといたしました。

4. 株主価値向上に向けた今後の基本方針

当社は、持続的な企業価値向上を実現するため、成長投資と力強い株主還元の両立を最上位の経営方針として掲げ、これを断行してまいります。

(1) 戦略的M&Aによる非連続な成長の実現

2025年 7 月に実行した株式会社ISMのグループインにより、福岡県にて800件を超える医療機関との強固な取引基盤と「Mighty Checkerシリーズ」の主要販売網を獲得いたしました。この成功体験を礎に今後2030年までに 8 ～10社のM&Aを推進、従来の代理店モデルからグループ直販モデルへの大胆な戦略を展開し、顧客接点の獲得と収益構造の最適化を図ってまいります。

今後も国内外を問わず、当社の事業ポートフォリオを強化し、非連続な成長をもたらす優良企業とのM&Aを積極的に推進してまいります。

(2) 安定性と成長性を両立した配当政策

M&Aによる成長と強固な財務基盤を背景とした安定配当25円をベースとし、これに各期の業績成果を反映させた業績連動型配当を加えることで、安定的かつ継続的な利益還元と、企業成長の果実を株主の皆様と分かち合う姿勢を明確にいたします。

(3) 中長期的な株主還元への強いコミットメント

当社は、中長期的に連結配当性向50%以上を引き続き目標として掲げ、これを維持・向上させることを経営の重要方針として明確に位置付けております。

(4) 機動的な追加株主還元の積極的検討

今回の配当40円は確保した上で、これを下限とし、今後の業績動向、財務状況及び株価水準等を総合的に勘案し、さらなる株主還元策についても機動的かつ積極的に検討を進めてまいります。

当社は、戦略的M&Aをエンジンとする事業成長と、本方針に則った力強い株主還元の両輪を回すことで創出されるキャッシュフローを、さらなる成長と株主価値向上へと繋げてまいります。株主の皆様の期待を超えるべく、企業価値の最大化に邁進することをお約束いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以上